

「令和 8 年度 市政報告会・意見交換会」開催結果（勝間田地区）

以下のとおり結果を報告します。

1 日時等

- | | | |
|----------|-------------------|---------------------------|
| (1) 日 時 | 7 月 2 1 日（火） | 午後 7 時 0 0 分～午後 8 時 3 0 分 |
| (2) 会 場 | 勝間田会館 | |
| (3) 内 容 | 市長からの市政報告・地区からの質問 | |
| (4) 参加人数 | 4 1 人 | |

2 市長からの市政報告

3 地区からの質問 別紙のとおり

4 当日の様子



令和 8 年度 市政報告会・意見交換（勝間田地区）質問・要望一覧

日時：令和 8 年 7 月 21 日（火）

19 時 00 分～20 時 30 分

場所：勝間田会館

番号	事 項 名	担当課
1	勝間田川の治水について	建設課
2	牧之原 IC 北側 商業施設について	新拠点整備室

令和 8 年度 市政報告会・意見交換
勝間田地区（7/21 開催）
質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	1 勝間田川の治水について
内 容	「令和 6 年度の市民トークで『勝間田川の三栗川合流付近の樋口橋及び平城橋の 2 箇所について監視カメラの設置を県に要望している』との回答でしたが、2 年経過した今でも実現に至っていません。今後の対応をお教えてください。 【担当：建設課】
回 答	二級河川における監視カメラの設置につきましては、令和 5 年 12 月に河川管理者である県から、近年の頻発化・激甚化する豪雨災害を踏まえ、住民が自ら避難に資する防災情報を収集することを目的として、設置要望箇所のとりまとめ依頼があったことから、二級河川に関係する各区に確認をさせていただきました。 勝間田区からは、勝間田川、朝生川、三栗川の 3 河川 5 箇所について設置要望が出されましたが、市全体としての要望箇所数に限りがあったことから、勝間田川の三栗川合流付近の樋口橋と平城橋の 2 箇所について要望をしております。 県は、各地から提出された要望箇所について実施可能な箇所の整理をし、勝間田川につきましては、危険度が高いと判断した樋口橋下流左岸に設置されました。 なお、設置された監視カメラの映像につきましては、静岡県地域密着型防災サイト「サイポスレーダー」のライブカメラ映像から視聴することができますので、ご確認ください。

令和 8 年度 市政報告会・意見交換 勝間田地区（7/21 開催） 質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	2 牧之原 IC 北側 商業施設について
内 容	牧之原 IC 北側地区開発計画が公表され、本事業が牧之原市の地域活性化や経済発展につながる事を期待しています。 その中で商業施設に関して質問があります。一部の機能が道の駅そらっと牧之原と重複するのではないかと思います。ターゲットとする顧客に違いがあるのか、どうすみ分けていくのかをご説明願います。 また、商業施設 出店 店舗名が決定していれば教えてください。 【担当：新拠点整備室】
回 答	東名相良牧之原 I C 北側地区の高台開発につきましては、土地区画整理事業による造成工事が昨年 9 月に完成し、約 19ha の宅地、2.3km の道路、2 箇所の公園や調整池が整備されました。 12 月には、大和ハウス工業株式会社から提示された建築計画を承認し、商業・産業街区の保留地と仮換地を引渡しております。 御質問いただきました商業施設につきましては、同社の建築計画におきまして、敷地面積 81,389 m²、建物は 2 階建てのモール型、延床面積は 36,360 m²、駐車場は約 1,500 台と計画されています。 店舗面積は 22,000 m²から 25,000 m²を見込んでおり、アピタ島田・エンチャー島田店とイオン焼津店の間程度の規模で、県中部地区では有数の規模になる見通しです。 商圈は、おおむね半径 10km 圏、商圈人口は約 23 万人を基本としておりますが、優れた交通利便性を生かして、車で 30 分圏からの集客や富士山静岡空港の利用者、静波海岸等を訪れる観光客なども取り込んでいく方針であると伺っております。 テナント店舗は、スーパーマーケットやドラッグストア、衣料品、家電、家具などの物販店舗、カフェやフードコート等の飲食店舗、理美容やペット関連などのサービス店舗、アミューズメントや教育関連など、幅広い年代や多様な利用者層を想定した構成とする計画であるとのことです。 商業施設の設置によりまして、暮らしや買い物の利便性向上、若者や女性をはじめとする雇用の創出、地域経済の活性化や税収の増

	加、交流・コミュニティ機能の充実、これらを通じた定住人口や交流人口の拡大等を推進してまいります。 「道の駅そらっと牧之原」との関係についてですが、「そらっと牧之原」は、持続可能な農業の確立や地元農産物の消費拡大、国内外からの誘客、地域交流の促進などを主な目的とした施設であり、約300 m²と小規模ながら、地元農産物や加工品の販売、飲食機能を備えています。 一方、I C北側地区に計画されている商業施設は、日用品や衣料品など生活全般に関わる商品の販売に加え、飲食、サービス、レジャー、滞在型店舗など、多様な機能を備えた、広域かつ大型の商業施設として計画されています。 このように、両施設は主な目的や機能、ターゲットとする利用者層が異なることから、必ずしも競合するものではなく、それぞれの特色を生かした役割分担が可能であると考えております。 市といたしましては、両施設が相互に連携し、市内の観光施設や交通拠点なども含めた回遊性の向上や地域全体の魅力発信を進めることで、市内への来訪者の増加や地域経済の活性化につながる相乗効果を生み出すことを目指してまいります。 また、商業施設の出店店舗につきましては、現在、事業者において出店を想定する事業者への情報提供や協議を開始した段階であり、出店店舗や店舗名などの具体的な内容については、現時点では決定していないと伺っております。
--	---

「市政報告会・意見交換会（勝間田地区）」の当日参加者による質問

※会場での質疑応答を要約してあります。

追加質問 1 市議会議員の定数と無投票選挙について

昨年 10 月の市議会議員選挙では、定数 16 人に対して 16 人が立候補し、無投票で当選となった。市議会議員の定数は現在も 16 人となっている。

一方、市制施行以降、人口は約 2 割減少している中で、議員定数が 16 人のままであることについて、市としてどのように考えているのか。また、今回の選挙では、無投票を前提として、選挙運動の準備を十分に行わないまま立候補したケースもあったと認識しているが、こうした状況を踏まえ、今後の議員定数について市の考えを伺いたい。

【回答者（市長）】

議員定数については、合併時の 18 人から 16 人に削減した経緯がある。市長としても、人口減少の状況を踏まえ、個人的には議員定数をさらに削減する方向が望ましいと考えている。

現在、市議会においても議員定数について検討が進められているほか、行政連絡会においても、新しい地区長から定数削減について提案したいとの意見が出ていると認識している。

人口が減少している中で、議員定数については十分に検討する必要がある。立候補者が定数に満たない場合には、欠員を補うための選挙が必要となり、選挙に伴う経費も発生するため、慎重な検討が必要である。

また、議員定数の削減と併せて、議員の処遇についても改善を検討する必要があると考えており、その点については市長からも議長に対して検討をお願いしている。現在は議会内部で検討している状況であるため、今後の議論の推移を見守っていきたい。また、議会報告会などでも定数削減を求める市民の声が出ていると聞いており、今後、議会の検討が進まない場合には、必要に応じて市からも働きかけていきたい。

【質問者】

次回の市議会議員選挙まで約 3 年 3 か月となるが、少数精鋭の議会運営でもよいと考えている。

今回の選挙では無投票となったことから、特に新人議員については、立候補にあたってどのような考えや政策を持っているのか、市民に十分伝わらないまま議員となっ

た面もある。

今後 3 年 3 か月の間に、それぞれの議員が研鑽を積み、議員として成長し、市民から「立派になった」と評価されるようになることを期待している。